

新春の伝統行事を見る 法要「鬼ばしり」と国宝長寿寺を訪ねて

2019年1月13日(日)

湖南省のご案内

湖南省は滋賀県南部に位置し、大阪、名古屋から100km圏内にあり、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交流拠点にあります。南に阿星山系を、北に岩根山系を望む丘陵地で、これらの丘陵地に囲まれて、地域の中央を野洲川が流れています。野洲川付近一帯に平地が開け、水と緑に囲まれた自然環境の恵まれた地域です。

本日のコースは、旧東海道を歩き東寺地区に伝わる鬼ばしりを見学し、国宝長寿寺を訪ねるコースです。

本日のコース

- 11:00 JR石部駅 — JR石部駅出発 11:10 — (徒歩10分) —
11:20 ②田楽茶屋 — ③小島本陣跡 — ④石部宿驛 — 道の辺公園 — (徒歩40分) —
⑤12:30 じゅらくの里【昼食】(40分) — (徒歩5分) —
⑦13:15 国宝長寿寺(75分) — (徒歩50分)
⑧15:20 頃 JR石部駅(解散)

お願い

- ・ウォーキング中は、スタッフの案内に従ってください。
- ・コース中、道路幅の狭い箇所があります。一列になって歩いてください。
- ・参加者数により、予定終了時刻を過ぎる場合があります。ご了承ください。
- ・体調不良の方や途中でやむを得ず列を離れる方は、スタッフにお伝えください。列を離れる場合は、自己責任でお帰りください。
- ・ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。

みんなで乗って実現させよう 草津線複線化



滋賀県草津線複線化促進期成同盟会
(滋賀県・草津市・栗東市・甲賀市・湖南省・日野町・三重県伊賀市)



事務局: 滋賀県土木交通部交通政策課 TEL 077-528-3684 / FAX 077-528-4837

コースのみどころ

◆^{ちようじゆじ こくほう}長寿寺(国宝)

湖南三山のひとつ。

奈良時代に聖武天皇の勅願により建立されました。本堂は鎌倉時代初期のもので、弁天堂は室町時代末期のもので重文です。参道の右手に石造多宝塔、前方に国宝の本堂を見ることが出来ます。また、収蔵庫には丈六の阿弥陀如来像が安置されています。長寿寺は祈願寺であり、子宝・安産・長寿の願いをかなえるとされています。

◆^{しゅしょうえ}修正会

仏教寺院において毎年1月に行われる法会。この法会は、前年を反省して悪を正し、新年の国家安泰、五穀豊穰などを祈願するものである。

◆^{さと}じゅらくの里

情報発信の場「福祉パーク館」、体験の場「土の館」「木工の館」、地元特産品の販売や喫茶軽食ができる「もりの駅」などの施設が充実している健康福祉ゾーンです。水路や広場で自然を楽しむことが出来ます。

◆^{いしべしゆく}石部宿

伊勢参道街道との分岐点でもある石部は、江戸時代には東海道51番目の宿場町として栄えた町です。京都・石部間は約36kmあり、「京立ち石部泊り」といって、京都から江戸へ向かう旅人が、京都を朝出発すると石部に夕方ごろ到着することから、安政5(1858)年には、本陣2、旅宿で32軒という盛況ぶりを見せていました。東海道51番目の幕府直轄の宿場で、伊勢参宮街道との分岐点として多くの旅人で賑わっていました。

◆^{いしべしゆくこじまほんじん}石部宿小島本陣

江戸時代終期にかけて様々な大名が、また明治天皇なども宿泊した本陣でしたが、建物の老朽化に伴い、昭和43年に取り壊され、今は石碑と説明板が残るだけです。

◆^{いしべしゆくでんがくちゃ}石部宿田楽茶屋

石部宿は東海道五十三次の五十一番目の宿場町で、古くから伊勢路への街道として多くの人の往来がありました。田楽茶屋は、江戸末期に人気を博した浮世絵師・安藤広重の「東海道五十三次」で石部の田楽茶屋が描かれ、それをもとに再現されました。施設は木造平屋建てで、観光客などが休憩できるようになっています。

みんなで乗って実現させよう **草津線複線化**

 **滋賀県草津線複線化促進期成同盟会**
(滋賀県・草津市・栗東市・甲賀市・湖南市・日野町・三重県伊賀市)

くろこ てはら いしべ こうせい みくも きぶかわ こうなん こうしょう こうか あぶらひ つげ

■ 事務局: 滋賀県土木交通部交通政策課 TEL 077-528-3684 / FAX 077-528-4837 ■